

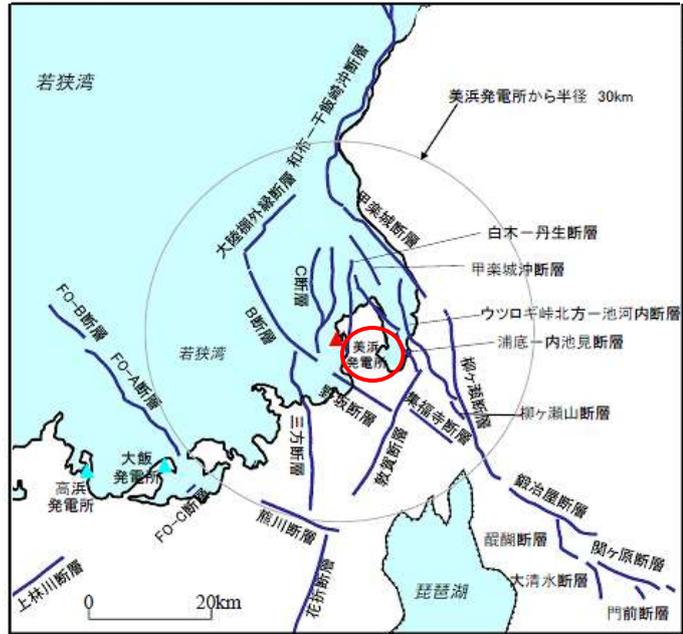
断層の巣の中にある美浜3号 40年超えの寿命延長認可を阻止しよう

基準地震動 (Ss-3) 993ガル → 熊本地震に照らせば1.5倍で1,490ガル

美浜3号機は7月半ばには、新基準に適合しているとの「審査書案」が下りると予測されている(日経6月30日)。その後、工事計画と運転期間延長の認可を今年11月末までに受け、40年を超える運転に入ろうとしている(実際は耐震工事が2020年3月までかかると予測)。老朽化と耐震性できわめて危険な美浜3号機の運転認可を許してはならない。

美浜3号機は右図のように、まさに断層の巣の中にある。基準地震動は下表のように24個もあり、C断層がSs-3の最大加速度993ガルをもたらす。

このC断層は、長さ20.6km、傾斜角(地表面から見た断層面の角度)60度、幅17.3kmで、面積は355.5km²なので、決して大きい断層ではないが、美浜3号機のすぐ傍にあるので影響は大きく、最大加速度993ガルは大飯原発の856ガルを上回っている。



(注)敷地から半径約30kmの範囲の主な断層について図示している。

さらに、島崎氏の提言によれば、入倉・三宅式に基づく上記加速度は過小評価であり、熊本地震に照らすとその1.5倍になるので、1490ガルにもなる。

6月20日の規制委員会では、島崎提言を受けて、大飯原発の基準地震動について別の方法で計算してみることが決まった。地震加速度は美浜3号機の方がむしろ大きく、しかも老朽原発なのだから、当然美浜3号について同じ措置がとられるべきである。

我々の運動は2013年秋以来、日本の断層の特性を反映した武村式を適用するよう要求してきた。熊本地震が改めてこの要求の正当性を裏付けた。基準地震動の見直しを要求しよう。署名運動や裁判を通じて大きな力を形成し、美浜3号の寿命延長認可を阻止しよう。

■基準地震動の最大加速度

単位: cm/s²

基準地震動		NS方向	EW方向	UD方向
Ss-1	設計用模擬地震波	750		
Ss-2	C断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点1)	910	978	373
Ss-3	C断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点2)	960	993	385
Ss-4	C断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点3)	912	862	296
Ss-5	C断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点4)	668	867	339
Ss-6	C断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点5)	799	680	340
Ss-7	C断層(傾斜角55° ケース、破壊開始点3)	620	611	337
Ss-8	白木-丹生断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点1)	541	781	577
Ss-9	白木-丹生断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点2)	787	598	467
Ss-10	白木-丹生断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点3)	669	562	411
Ss-11	白木-丹生断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点5)	806	623	502
Ss-12	大陸棚外縁~B~野坂断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点2)	708	620	402
Ss-13	大陸棚外縁~B~野坂断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点3)	746	545	508
Ss-14	大陸棚外縁~B~野坂断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点4)	680	761	536
Ss-15	大陸棚外縁~B~野坂断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点6)	506	661	476
Ss-16	大陸棚外縁~B~野坂断層(短周期の地震動1.5倍ケース、破壊開始点7)	802	815	535
Ss-17	大陸棚外縁~B~野坂断層(Vr=0.87βケース、破壊開始点1)	492	613	348
Ss-18	大陸棚外縁~B~野坂断層(Vr=0.87βケース、破壊開始点4)	518	609	445
Ss-19	安島岬沖~和布-千飯崎沖~甲斐城断層(Vr=0.87βケース、破壊開始点2)	239	279	232
Ss-20	安島岬沖~和布-千飯崎沖~甲斐城断層~甲斐城沖断層~浦底断層~池河内断層~柳ヶ瀬山断層~柳ヶ瀬断層南部~鍛冶屋断層~関ヶ原断層(破壊開始点2)	441	584	402
Ss-21	安島岬沖~和布-千飯崎沖~甲斐城断層~甲斐城沖断層~浦底断層~池河内断層~柳ヶ瀬山断層~柳ヶ瀬断層南部~鍛冶屋断層~関ヶ原断層(破壊開始点6)	603	451	436
Ss-22	安島岬沖~和布-千飯崎沖~甲斐城断層~甲斐城沖断層~浦底断層~池河内断層~柳ヶ瀬山断層~柳ヶ瀬断層南部~鍛冶屋断層~関ヶ原断層(破壊開始点9)	433	407	270
Ss-23	2000年鳥取県西部地震の復祥々ムの観測記録	528	531	485
Ss-24	2004年北海道留萌支庁南部地震を考慮した地震動	620		